

2011 山村留学ネットワーク研修会 in 東京 報告

2012/1/23(月) ~ 24(火) オリピックセンター (東京都渋谷区)

当協会では、山村留学関係者への情報提供や、山村留学実施地域の相互交流を図るため、年2回の山村留学ネットワーク研修会を、子どもゆめ基金の助成を受けて実施しています。

2011年度第2回研修会は、山村留学の効果的な広報や現場に役立つワークショップ、全国調査結果と今後の展開、国の青少年関連政策等の内容について実施しました。

当日は立場の違う方々が集まり、日頃の課題を話し合うと共に、相互の関係強化を図ることができました。

ワークショップ 1 「山村留学の効果的な広報」

山村留学は教育活動として約40年の歴史があるものの、全国的な認知度は十分とは言えず、留学生数も、飛躍的に増加しているわけではありません。

そこで、山村留学の意義や良さをまとめ、効果的な広報活動を展開するための考え方やスキルについて、山村留学に携わりながら、フリーランスのコピーライターもされている、徳島県那賀町の小西氏にお話をしました。

当日は、ワークシートに記入しながら、各山村留学地の魅力の掘り下げと、基本的な広報の考え方等について研修しました。



1/23 小西氏のワークショップ

(ゆうゆうかんネット) <http://yuyukan.net/>

ワークショップ 2 「作って鳴らそう、うぐいす笛」



1/24 松本氏のうぐいす笛作り

山村留学には、様々な体験が組み込まれています。

“物を作る”というのも大きな体験の一つで、木工やわら細工など様々な体験があると思います。

今回の研修では、物作りの考え方や道具の扱い、体験としての捉え方、物作りと子どもの成長等について、松本氏の講義を聞いた後、実習として「うぐいす笛」を各自で作成しました。

作り方一つで音色が変わったり、材料や大きさも色々あり、うぐいす笛の奥深さを知ることができました。



(物！手作りの会) <http://www.place24.ne.jp/monote/>

事例発表 「兵庫県神河町の取り組み」

兵庫県神河町の山村留学は、15年余りの歴史があり、廃校を利用した、“地域交流センター”では、留学生の活動だけでなく、町内の児童生徒を対象とした週末活動や通学合宿にも力を入れ、地域全体の子育てに山村留学が深く関わっています。

今回の事例発表では、そうした地元児童生徒向けの活動内容と、それによる相互効果等についての発表がありました。



(地域交流センター) <http://yamabikobosyu.blog.shinobi.jp>
(財団法人育てる会) <http://www.sodateru.or.jp>



1/24 竹本指導員による発表

主催：特定非営利活動法人 **全国山村留学協会** <http://www.sanryukyo.net>

〒180-0006 東京都武蔵野市中町 1-6-7-5F tel:0422-56-0595/fax:0422-56-0351/info@sanryukyo.net